

国立市立国立第四小学校 令和5年度 第2学年 授業改善プラン

教科	観点	課題	具体的な手立て・改善策
国語	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・助詞や「」、漢字を正しく書いたり使ったりすることができない児童が2割程度いる。(①) ・話の要点を捉えて聞くことが十分ではない児童が2割程度いる。(②) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「漢字の広場」の単元や書写の時間等で、学んだ漢字や言葉を使う場を設ける。 ・視覚的な情報を取り入れたり、聞くときの視点を指導したりして、常に意識させる。また、日常生活の中で、聞き取った内容についても確認させる。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
算数	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・計算問題はできるが、文章問題の読み取りが苦手な児童が3割程度いる。(①) ・長さやかさ、時間の量感が身に付いていない児童が3割程度いる。(②) 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かっている数や聞かれていることに線を引くなどして、必要な情報に注目して解くことができるようにする。 ・日常生活や数学的活動の中で量感を養うため、体験的な活動を増やす。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
生活	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・観察したり、まとめたり、物を作ったりする活動に積極的だが、発表や交流、自己の経験と結び付けて考えることが苦手な児童が2割程度いる。(①・②・③) 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方や発表の仕方、書き方の見本や話型を提示するなどして、具体的に指導する。また、発表や交流を通して自分の経験を振り返ったり、自己の成長に気付いたりすることができるようにする。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
音楽	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・全体と一緒に、楽譜を目で追うことができない児童が1割程度いる。(①) ・音符を見ながら、リズムを判断できない児童が2割程度いる。(②) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃より楽譜を指で追いかけるよう意識的に指導し、譜読みに慣れ親しませる。また、階名唱を多く取り入れて音の高さを認識しやすくする。 ・掲示を工夫したり、授業の導入にリズムを判断できるような指導をしたりする。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
図画工作	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具の基本的な使い方を身に付けていない児童が1割程度いる。(①) ・自分の想いを、作品に表現することが苦手な児童が1割程度いる。(②) ・友達の作品にあまり興味を示さない児童が1割程度いる。(③) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の声掛け、具体的にどう使うか実演を見せるなどして改善する。 ・思いをどのような色や形で表すとよいか考えさせる場面をつくる。 ・作品を作りながら友達の作品のよい所を参考にしたりするよう声掛けを行う。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
体育	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・走ったり、跳んだりなどの運動感覚が十分に身に付いていない児童が2割程度いる。(①) ・楽しんで運動することはできているが、技のポイントを理解し、自分や友達の良い動きを見つけながら運動できていない児童が3割程度いる。(②・③) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーショントレーニングや体づくりの運動を授業に取り入れることで様々な運動感覚を身に付けさせる。 ・技のポイントを、図や動画、実演等で視覚的に見せることで理解させる。また、ICTを活用することで、自分や友達の動きを振り返ることができるようにする。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		